

# FXシリーズ 技術マニュアル



## » はじめに

### FXシリーズ

この度は、FXシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
弊社の自転車はご使用する方へ最高の商品をご提供する様にデザインされています。

正しく自転車を調節、メンテナンスしていただく為、このマニュアルをよくお読みください。

詳しい情報については下記ホームページをご参照下さい。:

FELTBICYCLES.COM

## » 内容

### ご紹介

ジオメトリー ..... 2

### 調節方法

ヘッドチューブケーブルガイド ..... 3

フロントブレーキケーブル/ホースの取り回し方法 ..... 4

1x11フルハウジングケーブル/ホースの取り回し方法 ..... 5

1x11ケーブル/ドロPPERポスト付きのホースの取り回し方法 ..... 6

2x11 Di2ケーブル/ホースの取り回し方法 ..... 7

2x11 Di2ケーブル/ドロPPERポスト付きのホースの取り回し方法 ..... 8

2x11 メカニカルケーブル/ホースの取り回し方法 ..... 9

2x11 メカニカルケーブル/ドロPPERポスト付きホースの取り回し方法 ..... 10

ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法 ..... 11-18

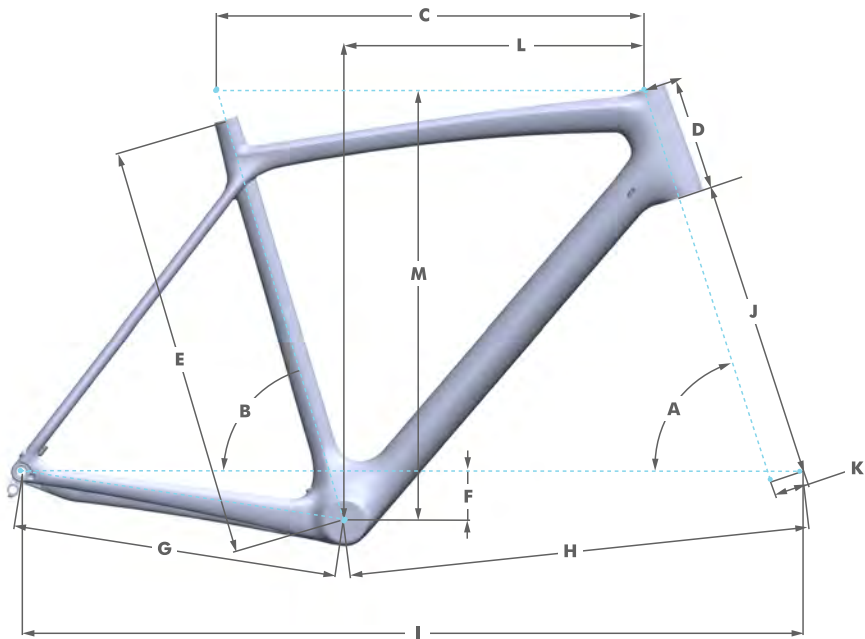
グロメットの図解 ..... 18-19

### お問い合わせ先の詳細

お問い合わせ先 ..... 20



## » ジオメトリー



	47	50	53	55	57	60	Size
A	70.5	70.5	71	72	72	72	Head Tube Angle
B	75.5	74.5	73.5	73.5	73.5	73.5	Seat Tube Angle
C	515	530	545	565	580	600	Top Tube Horizontal
D	110	120	130	150	170	190	Head Tube
E	470	500	530	550	570	590	Seat Tube
F	65	65	65	65	65	65	BB Drop
G	430	430	430	430	430	430	Chain stay
H	599	604	605	611	626	647	Front Center
I	1022	1028	1029	1033	1048	1068	Wheelbase
J	393	393	393	393	393	393	Fork Length
K	50	50	50	45	45	45	Fork Offset
L	380	382	384	397	406	420	Reach
M	523	533	544	568	587	607	Stack

## » ヘッドチューブケーブルガイド

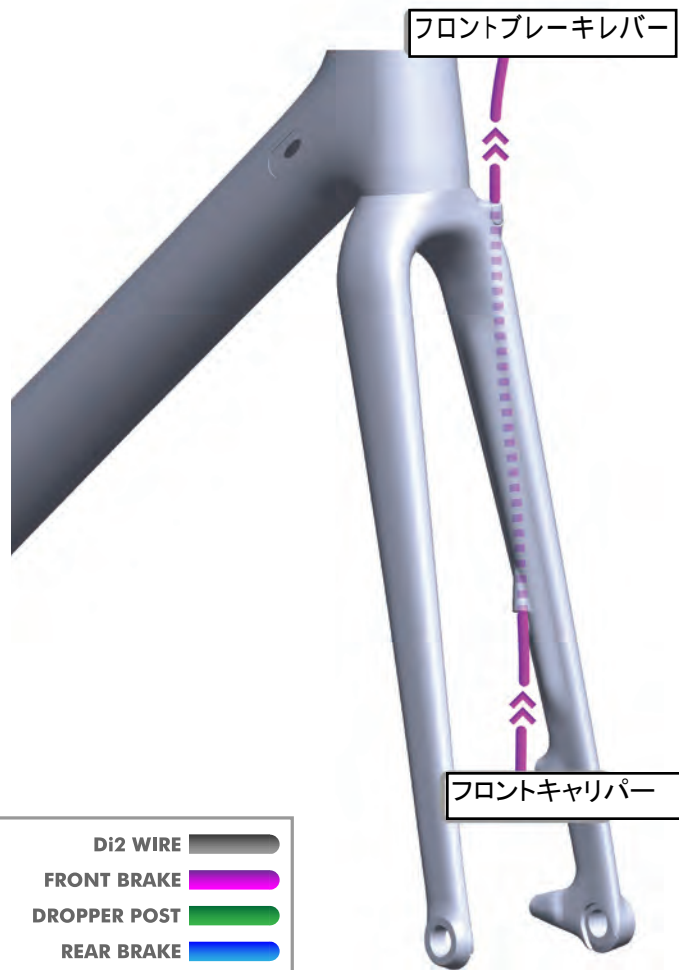
ヘッドチューブケーブルガイドには交換可能なゴム製のリデューサーが付属しており、ご使用する方の用途と好みに合わせて調整する事が出来ます。



Di2 (2mm)      シフト (4mm)      ブレーキ (5mm)      ブランクプラグ (穴無し)

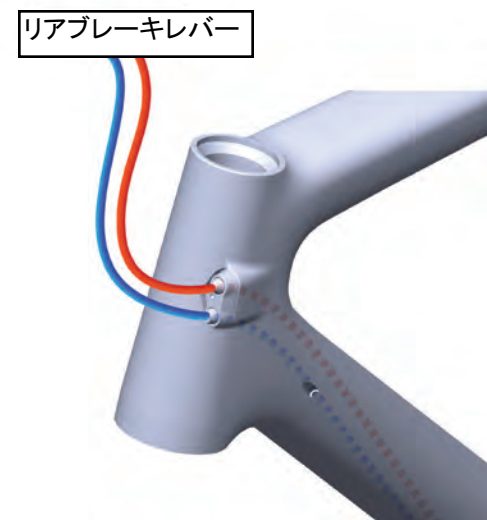
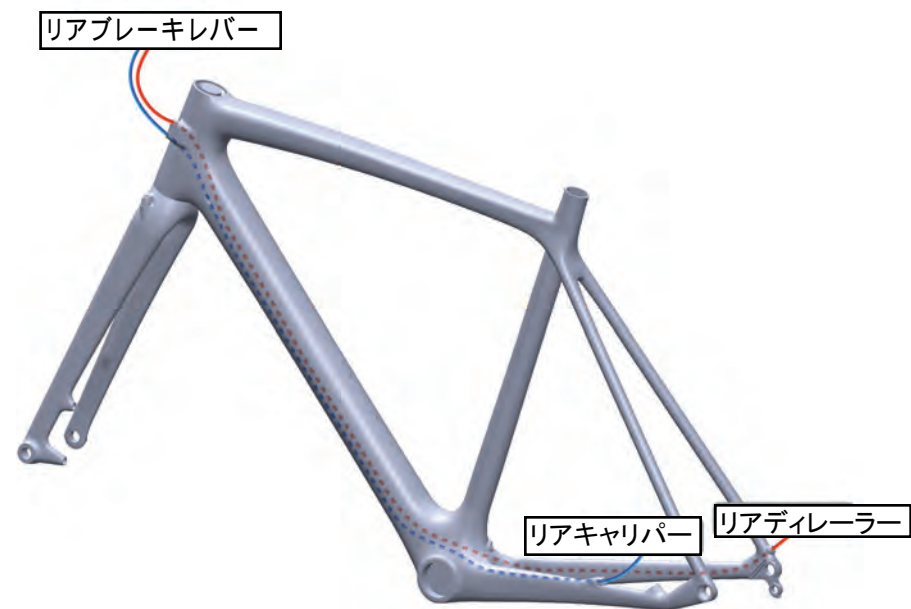
## ▶▶ フロントブレーキケーブル/ホースの取り回し方法

下から上へ向かってケーブルを取り回すのが望ましい方法です。ケーブルの末端を下部の穴に挿入し、フォークブレードにそって上部の穴へ通します。



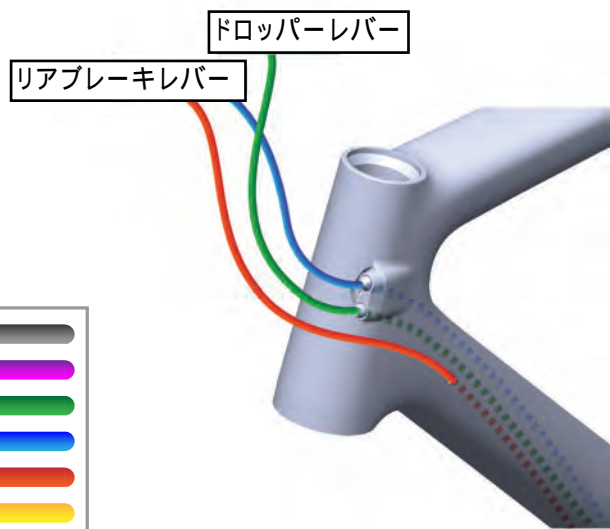
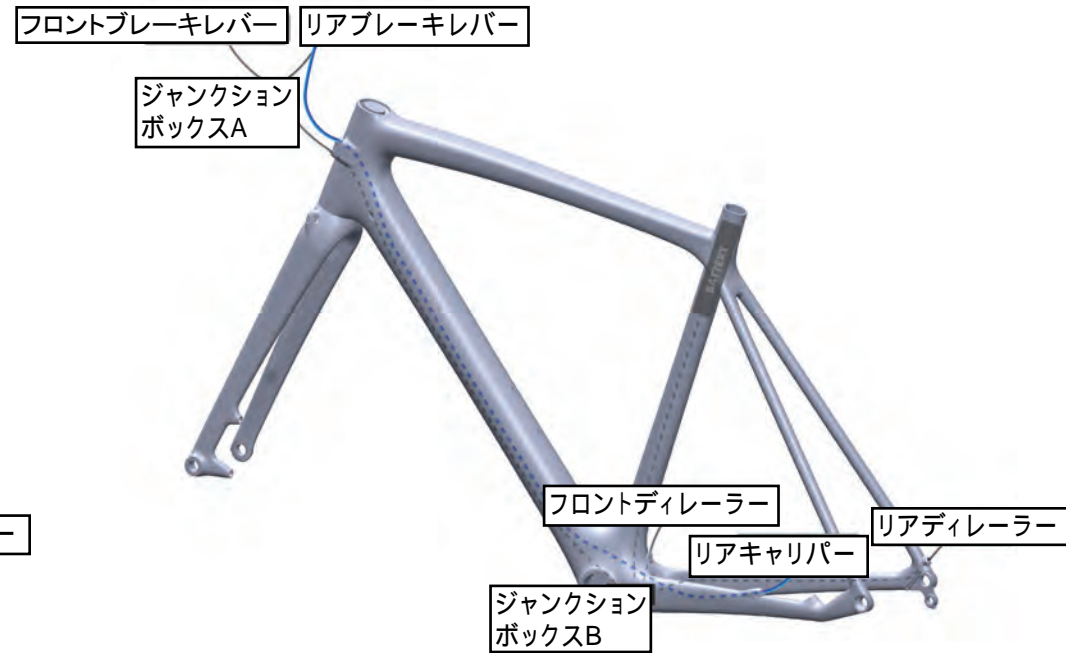
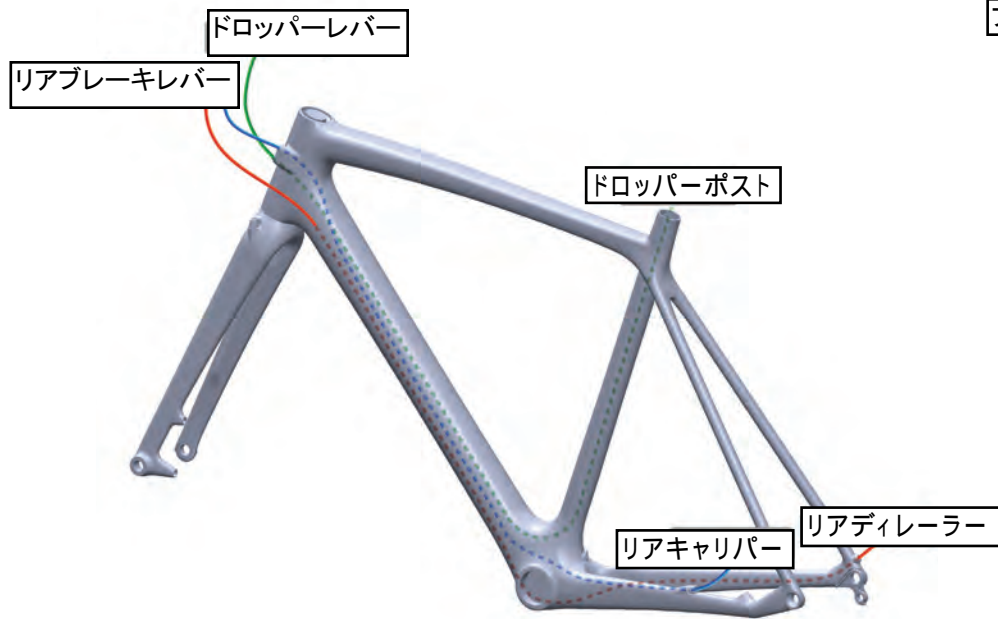
DI2 WIRE	■
FRONT BRAKE	■
DROPPER POST	■
REAR BRAKE	■
REAR DERAILLEUR	■
FRONT DERAILLEUR	■
INTERNAL ROUTING	■ ■ ■ ■

## ▶▶ 1x11フルハウジングケーブル/ホースの取り回し方法



1x11ケーブル/ドロップパーポスト付きのホースの取り回し方法

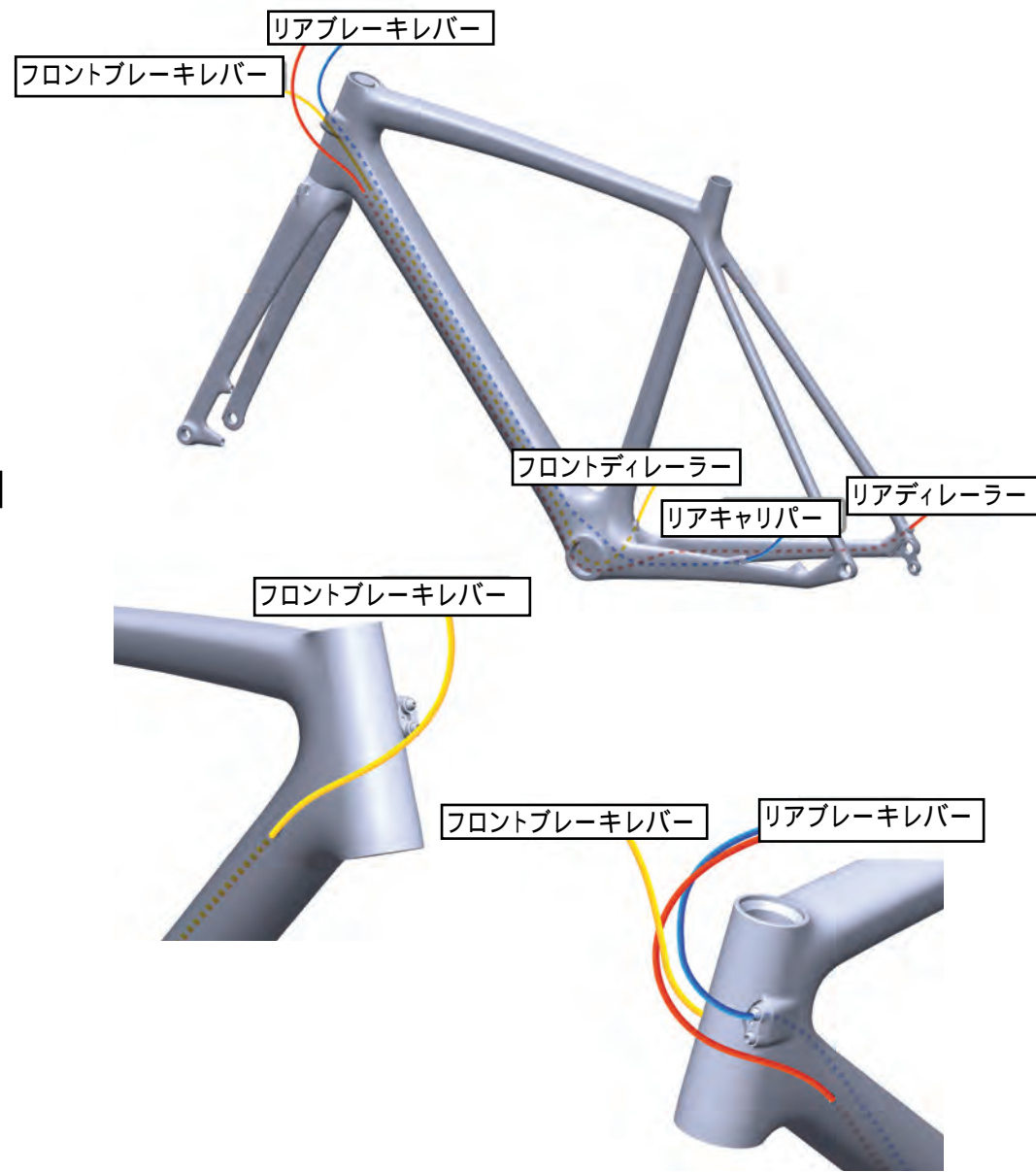
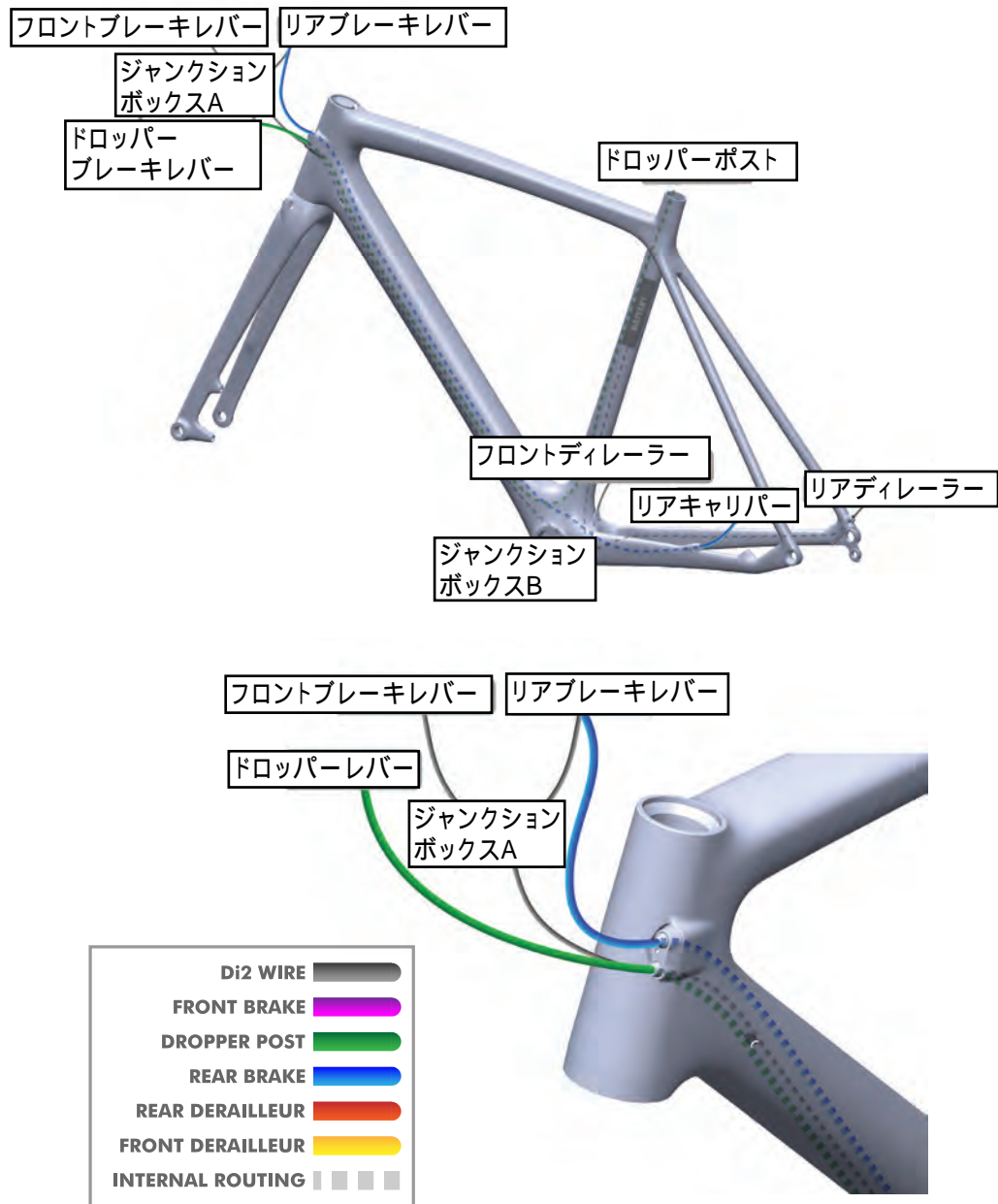
2x11 Di2ケーブル/ホースの取り回し方法



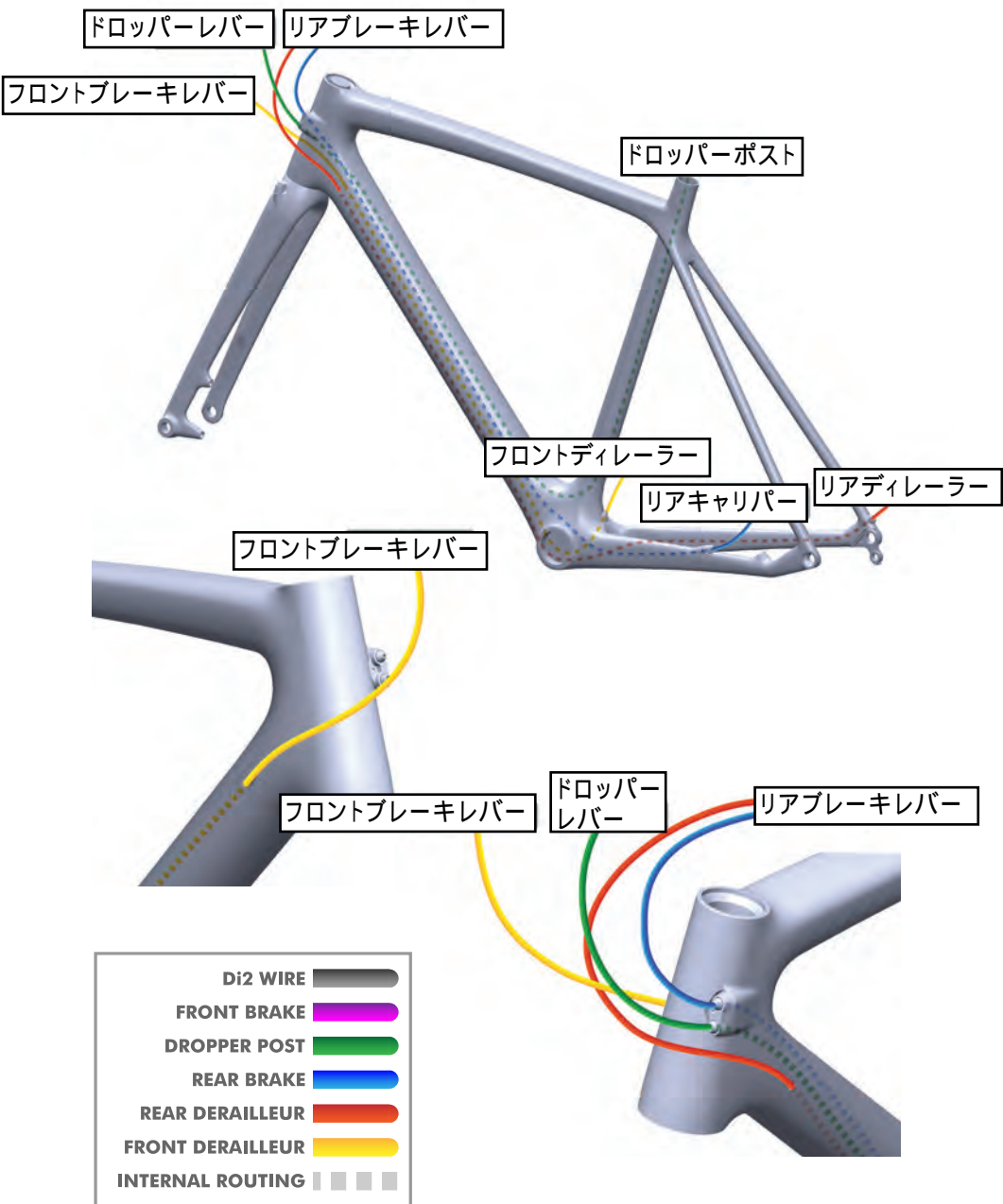
DI2 WIRE	Grey
FRONT BRAKE	Purple
DROPPER POST	Green
REAR BRAKE	Blue
REAR DERAILLEUR	Red
FRONT DERAILLEUR	Yellow
INTERNAL ROUTING	Grey

2x11  
 Di2ケーブル/ドロPPERポスト付きのホースの取り回し方法

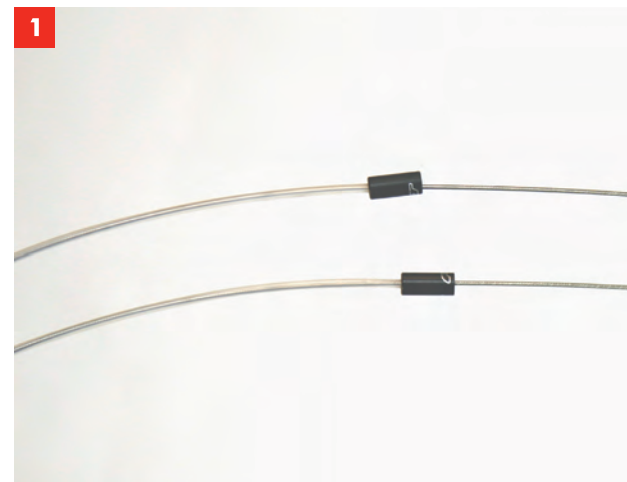
2x11 メカニカルケーブル/ホースの取り回し方法



2x11  
メカニカルケーブル/ドロPPERポスト付きホースの取り回し方法



ポトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



付属のケーブルライナーをそれぞれのケーブルに通して下さい。  
取り回しの工程でケーブルライナーの曲がりと摩擦を防止します。

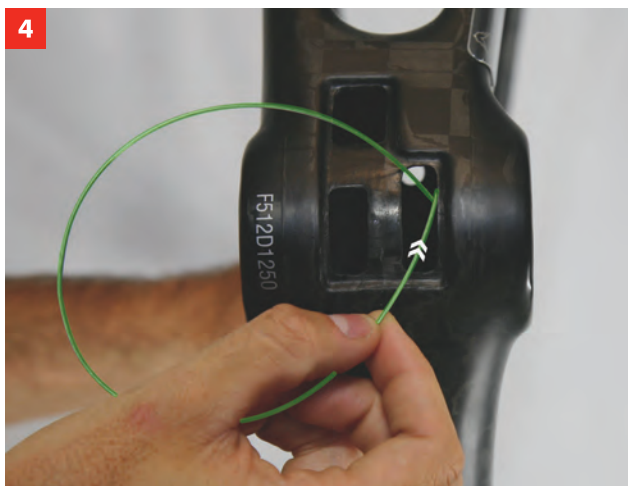


自転車のフレームのノンドライブ側にある入り口にリアディレイラーケーブル  
を通して下さい。

## ▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法

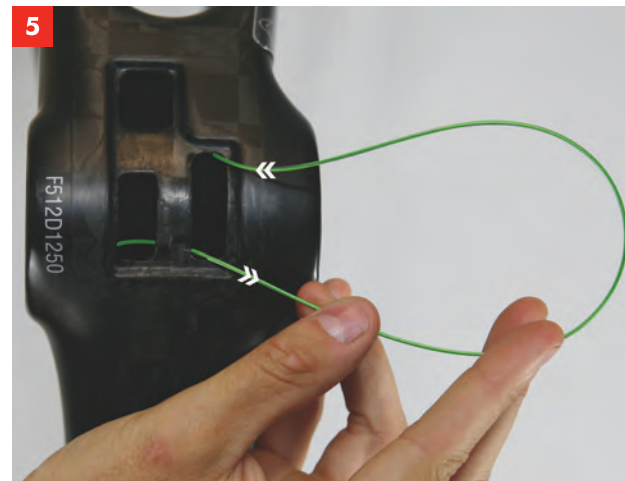


フレームのドライブ側に一番近い口からケーブルの末端が見えるまで挿入して下さい。  
口からケーブルが見えたら、次の工程の為にケーブルをたるませながらケーブルを引っ張り上げて下さい。



ドライブ側のチェーンステアに向けてケーブルを戻して下さい。  
リアディレーラーに近い口からケーブルが出てきます。  
これでフレームの外側に取り回し工程に必要な輪を作ります。

## ▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



上の画像とほぼ同じサイズに輪を保って下さい。  
後の工程の為、ケーブルを邪魔にならない様にします。



リアディレーラーに近い口からケーブルが出てきます。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



フロントディレーラーケーブルをフレームのヘッドチューブに近いドライブ側にある口に通して取り回します。



ケーブルの末端がノンドライブ側にあるボトムブラケットシェルの中の口から出ます。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



上の画像の通り、ナイロン製ボトムブラケットガイドの口にケーブルを通して下さい。



前の工程でアセンブリに正しくケーブルが通ると上の画像の様になります。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法

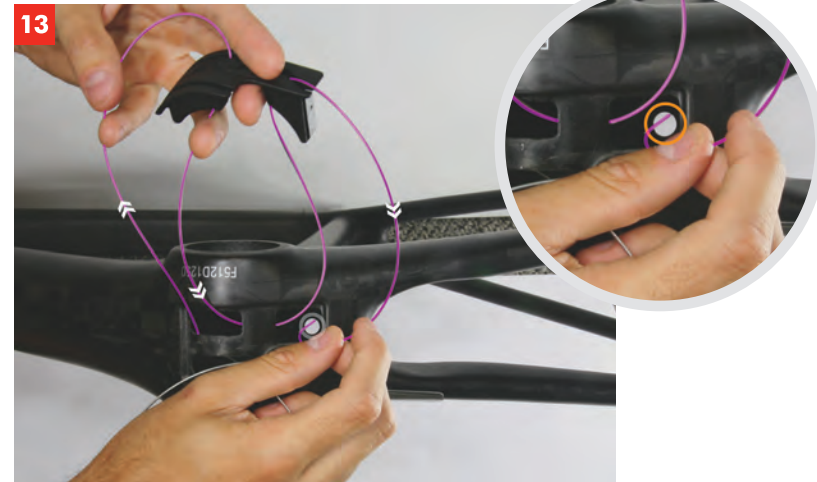


前の工程で通したケーブルを保ちながら、たるみを出してきた口に入れ直し、真後ろの口から出して下さい。

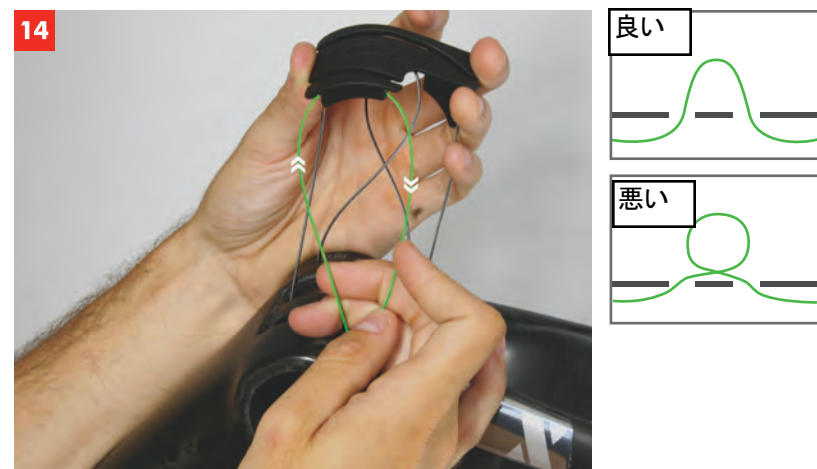


上の画像の通り、ケーブルをボトムブラケットケーブルガイドにそって上に向かって通して下さい。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



上の画像のようにケーブルがボトムブラケットガイドとフレームを通っています。ケーブルを正しく通したら、リアボトムブラケット口を経由したフロントディレーラーケーブル出口を見つけ、たるんだケーブルの末端をボトムブラケットからフロントディレーラーへ通して下さい。(丸の図の通りに。)ケーブルのたるみはまだ引っ張らないで下さい。



工程2で作った輪を工程6まで保ち、ボトムブラケットの溝に引っかけて下さい。

## ▶▶ ボトムブラケットケーブルの取り回し方法

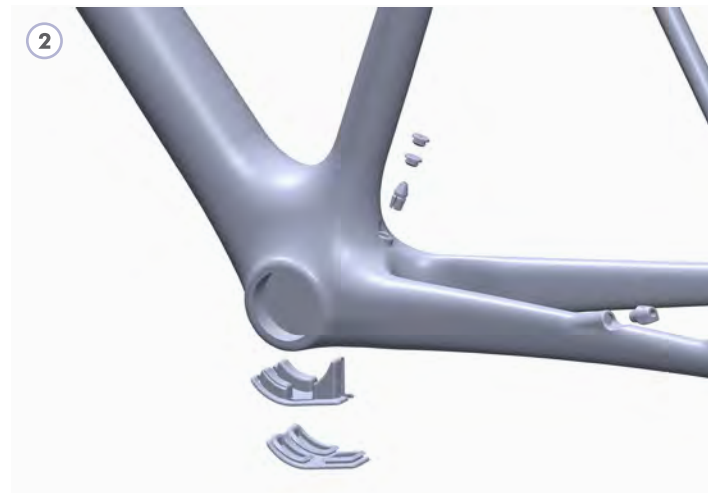


前の工程でそれぞれのケーブルを正しく通し終わったら、ケーブルのたるみを引っ張って調節出来ます。ケーブルのたるみを引っ張る際、フレームにそって水平になるまでボトムブラケットケーブルガイドを通して下さい。正しく取り回しが出来ている場合、それぞれのケーブルはライナー内部でなめらかに抵抗なくスライドします。ライナーに摩擦が生じる場合、前段階を参照し、間違えた箇所を是正して下さい。

## ▶▶ グロメットの図解



## ▶▶ グロメットの図解の続き



## » お問い合わせ先

アメリカ:  
Felt Racing, LLC  
12 Chrysler  
Irvine, CA 92618  
USA

ドイツ:  
Felt GmbH  
Industriestr. 39  
26188 Edeweicht  
Germany

公式ホームページ  
[WWW.FELTBICYCLES.COM](http://WWW.FELTBICYCLES.COM)

